

社会資本総合整備計画

平成29年2月13日

計画の名称	15 新幹線駅へのアクセスを向上させる街路の整備							重点配分対象の該当	○								
計画の期間	平成28年度～平成31年度(4年間)			交付対象	佐賀県、武雄市												
計画の目標	新幹線開業を見据え、新幹線駅及び在来駅へのアクセス道路等の整備を行い、交通結節点として利便性の向上を図る。																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 武雄市における駅と主要観光施設間の平均所要時間7.5分(H28)を10%短縮させる 武雄温泉駅周辺の車両通行量及び歩行者通行量を100台・人増加させる 																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)									
						0% (7.5分)	5% (7.1分)	10% (6.75分)									
	現地走行調査により、武雄温泉駅から各施設への所要時間を計測する (算出方法)各地点から駅北口・南口への到達時間を計測し、平均所要時間を算出する。(所要時間(総計)÷経路(往復)=平均所要時間)																
	現地調査により、平日と休日(各1日、12時間)の車両通行台数及び通行人数を計測する (算出方法)計測地点(駅北口・南口)の12時間通行台数・人数を計測し、平日・休日(2日間)の合計台数・人数を算出する。 (平日の通過台数・人数(計)+休日の通過台数・人数(計)=合計通行台数・人数)					27,700台・人	27,750台・人	27,800台・人									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,782百万円	A	1,782百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
15-A-1	街路	一般	佐賀県	直接	—	(都) 甘久武雄線	現道拡幅 L=0.3km	武雄市						114.0	-	-	
15-A-2	街路	一般	武雄市	直接	—	(都) 永松川良線(駅南工区)	現道拡幅 L=0.2km	武雄市						412.0	-	-	
15-A-3	街路	一般	武雄市	直接	—	(都) 天神崎白岩線	現道拡幅 L=0.1km	武雄市						873.4	-	-	
15-A-4	区画	一般	武雄市	直接	—	(区) 武雄北部地区	区画整理 A=9.0ha	武雄市						382.1	-	-	
									合計					1,782			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
									合計					0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	205.0	303.0			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	205.0	303.0			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	67.0			
支払済額 (e)	138.0	243.0			
翌年度繰越額 (f)	67.0	127.0			
うち未契約繰越額 (g)	21.0	88.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	10.24%	23.78%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	関係地権者との協議に時間を要し、工事発注が遅れたことによるもの。	関係地権者との協議に時間を要し、工事発注が遅れたことによるもの。			

参考図面（社会資本整備総合交付金）

